

中堅としての準備を

中学1年生も残り2か月を切りました。3年生は私立入試を終えて、宇ノ気中学校を巣立つ日まであと1か月あまりに迫ってきています。そして1年生のみなさんは徐々に中堅学年になりつつありますが、その意識は高まってきているでしょうか。2月21日（水）、22日（木）に、各小学校で小学6年生を対象に三役の代表生徒が中学校での学習活動や生活のルール、小学校との違いなどについて、話をする予定です。6年生が4月に入学するときに、「中学生って素晴らしいな。」と感じられるような清々しい雰囲気、1年生一人一人が伝えられるように、学習面、生活面ともに準備しておいてほしいですね。



☆次代の親育て事業

高野 優さん（育児漫画家）の講演を聴いて

1月24日（水）に、かほく市の『次代の親育て事業』の一環で育児漫画家の高野優さんに講演をしていただきました。高野さんのご本人の育児体験を通して、マンガで分かりやすくお話してくださいました。

〈生徒の感想〉

- ・今日の講演を聞いて、一番心に残っている言葉は「好き」は「武器」になるという言葉です。武器は人を傷つけてしまうというイメージがあるけど、自分の長所を磨くために使えば良いのだと分かりました。なので、自分の好きなことを磨いていきたいです。また、親に怒られてイライラすることもあるけど、親も親なりに反省しているのだと分かりました。今後、思春期・反抗期になった時に、抱え込まず、周りの大人に相談したいです。（1組 高木萌々子）
- ・お母さんは私たちのことをしっかり見てくれているので、ケンカをするときもあるけど、我慢をしないでぶつけ合っていこうと思いました。私は何も考えずにしていたけど階段をドスドス音を立てながら歩いたり、物を荒く使ったりしていることに、親は不満を持っていると改めて感じました。反抗期があるからこそ、大人になったとき、優しく穏やかな人になれると分かりました。また、好きなことをして誰にも負けない熱意を持ち、強い大人になりたいと思いました。（2組 勘山空来）
- ・思春期について親はどう思っているかも分かったし、とてもいい時間になりました。小学生の頃と中学生の頃では性格や見た目も変わって、人の成長はすごいと思いました。親の目線からすると少しの成長も思春期もうれしいと思っていると分かりました。自分ではめんどくさかったり、邪魔だと思うけど、親はそんなことを考えているから自分も努力して恩返ししていきたいです。生きていること、食べていけることなどすべて親がいてこそなので感謝したいです。（3組 中田遥斗）



「職業人に学ぶ会」を終えて

2月1日（木）「職業人に学ぶ会」を実施しました。様々な仕事をされている講師の方々の日々の仕事の様子をととても具体的にお話していただき、仕事のやりがい、楽しさ、大変さなどを学ぶことができたようです。

〈生徒の感想〉



私たちのためにわざわざ話を下さってありがとうございました。私は「教えるのではなく、体験させたい」という中川さんの言葉に感動しました。体験させるためには色々大変なことがあると思うけど、子どもたちがより楽しんで学んでもらえるように、興味を持ってもらえるようにという思いが伝わってきたからです。こんな先生のいる幼稚園は子どもたちにとってとても幸せだろうなと思いました。大変なこともあると思いますが、

(幼稚園教諭) 中川友紀さん 子どもたちのために頑張ってください。 (5組 岡井綾音)

僕は昔、消防士になりたかったのを今でも覚えています。でも小学校高学年ぐらいから、この仕事がどのくらいつらいのかが分かってきて、消防士になろうとは思わなくなりました。人の命に関わる場合もあるし、人のために働くのは本当にすごいことです。危険だけどその分達成感が大きいし、良い仕事だと思いました。努力の先に輝く未来があるんだと知り、本当にやりたい仕事を見つけようと思いました。(2組 山森朋也)



(消防士) 山田貴春さん



小学生の頃に一度警察犬を見たことがあります。とても強く勇ましい感じでした。今回の犬もそのようなオーラがありかっこいいと改めて感じました。自殺する人を守れないのが悲しいと言っていて、私も同じ場所にいたらとても悲しくなります。だから、私は赤崎さんの仕事に就く勇気がありません。赤崎さんはすごいし、かっこいいと思いました。私も仕事は違うかも知れないけどたくさんの人を支えていきたいと思いました。(3組 川口歩乃)

(警察犬訓練士) 赤崎美香さん

私が話の中で一番心に残ったのは、「同じ物を同じ味で作る必要がある」という言葉です。すべてを同じクオリティで安定したものを作るとするのは大変だと思います。それこそが逆に忍耐力などが表れていると思いました。勉強を高いレベルで継続しなければいけないという意味では学生である今の私にもあてはまると思います。本当に勉強になりました。



(4組 宮下紗依) **(パティシエ) 南谷晃平さん**



今日のお話を聴いて、目指す職業は違っても、松井さんのような気持ちを持って仕事をしたいなと思いました。松井さんが介護士になるきっかけとなった看護師さんの笑顔はどの職業にも大切かなと思いました。そして、きつい、汚い、危険の3Kを感謝、感動、感激の3Kととらえて仕事をするということも大切だと思いました。どんな仕事でも楽しさやりがいを見つけ、夢、目標、希望を持って頑張りたいと思いました。

(介護士) 松井佳江さん

(1組 北瀬 萌)

2月の予定

- 7日(水) 数学基礎テスト
- 9日(金) 第3回漢字検定
- 11日(日) 建国記念日
- 12日(月) 振替休日



- 19日(月) 1年球技大会、諸活動禁止
- 22日(木) 1・2年期末テスト
- 26日(月) 英単語テスト
- 27日(火) 生徒表彰集会
- 28日(水) 生徒議会

・私はたまに親に反抗してしまうことがあって、そんなときに親はいろいろと子どものために考えてくれていることが分かりました。高野さんの子どもの話を聞いて、強いとか弱いとかそういう事ではなくて、何か目標を持ってそれに向かって頑張ることが大切なんだと分かりました。私はまだ目標を持っていないので、まずは目標を持ち、1つのことに一生懸命になれるように頑張ろうと思いました。また、親に何か言われたときも心配してくれたり、気にかけてくれたりしていると思って、ひどいことを言ってしまうないように気をつけようと思いました。

(4組 泉谷月愛)

・私は普段、親の気持ちとかは全然分からなかったけれど、親の気持ちを知ることができて面白かったです。また、自分も少し反抗していることがあり、それはダメなことだと思っていたけど、反抗することも大切だと聞いて、ほっとしました。たくさんのエピソードを聞かせてもらったけど、その中に自分と似たようなエピソードがあって、自分だけと思っていたけど、反抗期はみんな同じ感じになってしまうんだなと分かり安心しました。

(5組 岡井綾音)